

共につくるうきょうの絆

福祉ボランティア 社協フェスタ

2016年10月16日(日) 時間: 10:30~15:00 会場: ひと・まち交流館 京都 **入場無料**

月親子で楽しめる催しがいっぱい!

子ども大集合!

イマ! **カエルキッパン!**
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

参加して熊本の復興を応援しよう!!

- 熊本復興支援ゾーン
 - 復興支援物産展
 - 熊本地震に対する支援取組パネル展示 会場に募金箱を設置し、熊本を応援します。
- 子ども体験コーナー
- 地域福祉の紹介コーナー
- 福祉体験・相談ゾーン
- 飲食・喫茶コーナー
- ボランティア交流コーナー

【主催】京都市福祉ボランティアセンター | 京都市内の社会福祉協議会
 【後援】京都市 | 京都市民生児童委員連盟 | 京都府共同募金会

京都市社協 広報サポーター募集のお知らせ

市社協では、広報誌等を分かりやすく親しみのあるものとするため、お知恵をお貸しいただける方を募集しています!

募集要項	応募資格	京都市内に在住又は通勤若しくは通学されている方。	応募方法	住所・氏名(フリガナ)・電話番号・年齢・性別・職業をご記入のうえ、下記あて封書又はFAXでご応募ください。
	活動内容	市社協が開催する会議にご出席いただき、広報等のアドバイスをいただきます。	締切	12月9日(金) (必着)
	活動回数	年数回	結果通知	選考のうえ、平成29年3月末日までにご連絡します。
	任期	2年間	応募・問合せ先	総務部 TEL.354-8731 FAX.354-8736
	謝礼	会議に出席いただいたときは、記念品を進呈します。		

社会福祉法人 **京都市社会福祉協議会** 平成28年度版 10月発行

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都内
 TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736
 http://www.syakyo-kyoto.net/ E-mail: sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp



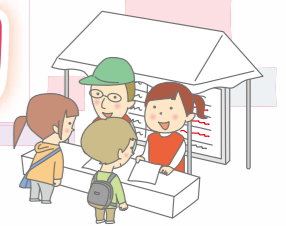
社協の活動を映像でご覧いただけます **京都市社協** 検索 この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。

京都市の 社会福祉協議会

目次

届けよう 災害支援の思いと力 P.1
 各区・各学区社協の取組み P.2-3
 健康すこやか学級
 高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会を実施
 福祉ボランティア社協フェスタご案内 P.4
 広報サポーター募集

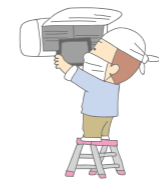
届けよう 災害支援の思いと力 熊本地震 被災地を支援



京都市社協の取組み

職員の派遣

全国社会福祉協議会からの派遣要請を受け、4月27日から7月21日まで計19名の職員を派遣し、熊本市等の災害ボランティアセンター運営支援および生活福祉資金貸付相談業務を行いました。



義援金の募集

京都市の取組みにあわせて市・区社協及び事業所に4月18日から募金箱を設置し、市民の皆様への義援金を募集しました。

ボランティア支援金の贈呈

熊本市社会福祉協議会に対して、京都市災害ボランティアセンターとの連名で50万円の支援金を送金しました。

京都市災害ボランティアセンターの取組み

京都市災害ボランティアセンターは市社協、きょうとNPOセンター、京都市の三者で構成する常設のセンターで、京都市福祉ボランティアセンターに事務局を置いています。

災害ボランティアの募集および派遣

熊本市災害ボランティアセンターへ計3回延べ40名のボランティアを派遣し、熊本市東区内で、がれきの撤去や家屋の片づけ等の支援活動を行いました。

	日程	参加人数
第1クール	4/29~5/3	10名
第2クール	5/7~5/11	10名
第3クール	5/13~5/16	20名



ボランティアの活動の様子

災害に備えた京都市における社協の取組み

京都市では、区長の要請により区社会福祉協議会が「区災害ボランティアセンター」を設置し、「京都市災害ボランティアセンター」が総合調整を行います。

被災地支援の経験をふまえて

熊本市災害ボランティアセンターでは、設置からGW明けの約1カ月間、連日100名を超える大学生が運営スタッフとして活動しました。京都市でも大学生の参加を促進するため、大学ボランティアセンター*との連携に取り組んでいます。

*佛教大学、立命館大学、京都産業大学、同志社大学、龍谷大学に設置

平成28年9月3日(土)京都市総合防災訓練の一環として実施した区災害ボランティアセンター運営訓練では、大学ボランティアセンターとの連携により、9名の大学生が運営スタッフとして訓練に参加しました。訓練では、ボランティア登録からボランティアの送り出し、活動後の報

告の受理まで一連の運営業務を大学生が担いました。京都市の災害ボランティアセンターの中核を担う本会では、京都市内で災害が発生した際に、災害ボランティアセンターの運営に知識や経験のある若いパワーも得られるよう、大学ボランティアセンターと共に体制づくりに向けた取組みをより一層推進します。



大学生の参加の様子



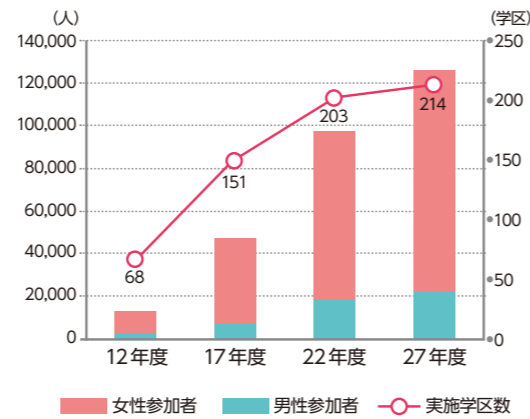
地域には魅力的な場所がいっぱい!



健康すこやか学級

平成12年の介護保険制度導入とともに、京都市からの委託事業として介護予防を目的に実施しています。多くの学区社協の役員・ボランティアの皆さんの協力により、京都市全体で年間のべ12万人を超える高齢者の方々にご利用いただき、住民同士のつながりや地域の絆づくりを広げる学区社協の重要な活動となっています。

男性高齢者の参加は2割未満と少ないのが現状ですが、男性高齢者にも気軽に参加いただけるよう、工夫をしながら取り組んでいきます。



松尾学区

男性だけの筋トレ教室

松尾学区では、男性の参加を促進するため、男性の社協役員が指導者となり、「筋トレメンズ教室」を開設しています。「同性が多いと参加しやすい」という参加者もあり、リラックスした雰囲気の魅力の教室です。教室で知り合い、一緒に出かけるようになった方もおられました。役員やメンバーが誘い合い、回を重ねるごとに益々参加者が増えています。



教室をきっかけに、日頃の関係がより親密になりました。欠席者の近況もメンバーからの情報ですぐに把握ができます。



指導者の
廣瀬さん

境谷学区

多様なプログラムで参加促進



太極拳



ホウ酸団子作り

境谷学区では、新しい参加者を呼び込むため、介護予防に加え、参加者が楽しめるプログラムを取り入れています。中でも、太極拳やホウ酸団子作りなど珍しい企画では、新規の参加者も多く集まります。新しい参加者が増えることで、取り組みも活性化し、仲間づくりの輪も広がります。



高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会を実施

地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービス等の提供体制を構築する「京都市地域支え合い活動創出事業」を、平成28年5月から京都市社会福祉協議会が公募により受託し、「地域支え合い活動創出コーディネーター」が各区社会福祉協議会に配置されました。

平成28年6月、居場所の運営者同士がお互いの悩みを語り合い、課題をともに乗り越えていくことを目的に、情報交換会を開催しました。

情報交換会には、22団体41名もの方にご参加いただき、取り組み内容の共有に留まらず、活発な意見交換が行われました。



高齢者の生活を支援するサービスを充実させることが求められる中、高齢者が身近で気軽に立ち寄れる「居場所」は、閉じこもり等の孤立の防止や参加者同士の出会いによる仲間づくり等で重要な役割を果たしています。



高齢者支援の入り口として居場所が果たす役割について認識を深めると共に、これからの居場所の可能性について夢を語り合う良い機会となりました。

参加者の声



- よく来ている方の様子に変化があれば、地域包括支援センター等に相談しています。そのお陰で、認知症の早期発見につながったこともありました。居場所は高齢者支援の入り口にもなっていると思います。
- 人によって居心地の良い場所は違います。だからこそ、居場所だっているいろいろな所があっても良いと思っています。誰もが、自分にとって居心地のいい居場所を見つけられるように、取組みが広がって欲しいですね。



問合せ

社会福祉法人 京都市西京区社会福祉協議会

〒615-8083 京都市西京区桂良町23-4

TEL.(075)394-5711 FAX.(075)394-5712

西京区社協 検索

http://www.kn-cosw.jp
E-mail: office@kn-cosw.jp

